

あらい
新井地区
(新潟県妙高市)

- 計 画 期 間 平成 19 年度～平成 23 年度
- 面 積 280h a
- 交付対象事業費 600 百万円
- 市人口 32,884 人 (地区内人口 7,321 人)

ポイント 活気と潤いに満ちたアメニティの高い
まちづくり「交流拠点の創出」

地区概要 新庁舎建設に合わせ、防災・交流拠点として
広場を整備することにより、中心市街地の防災
力の向上と賑わいの再生を図る。また、区画整
理事業により、快適な居住機能の向上を図る

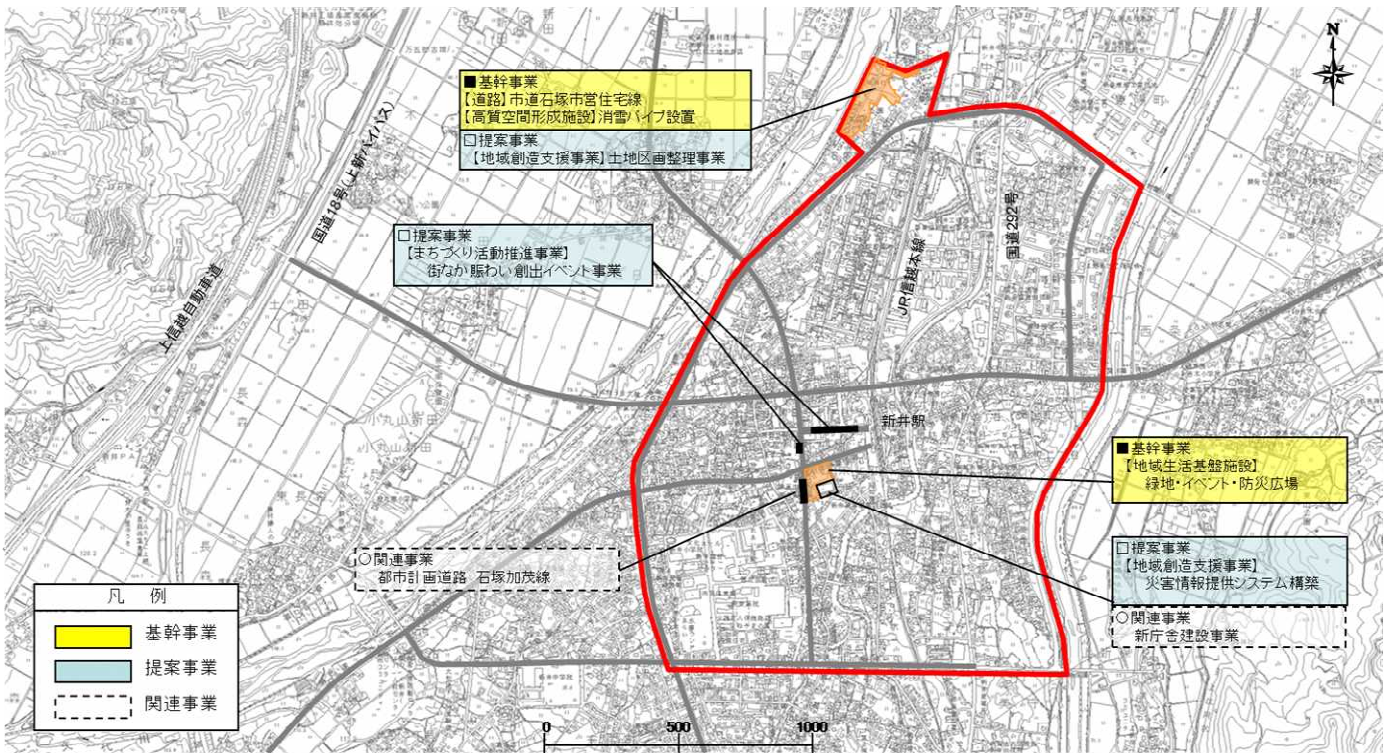
目 標 まちなかの防災機能及び居住環境の向上と中心市街地の活性化により、交流拠点の創出を図る。

指 標

- ①街なかへのアクセス性と街なかの回遊性・移
動性の向上による活気ある交流拠点の創出
- ②街なかの防災性向上
- ③安全・安心で快適な居住機能の向上

買物利用割合	3.4% (H17)	→	5.0% (H23)
避難所への所要時間	9 分 (H18)	→	5 分 (H23)
区画整理地内定住人口	22 人 (H18)	→	100 人 (H23)

事業内容 基幹事業 (473 百万円) → 道路 (幅員 6m、延長 108m)、緑地・イベント・防災広場 (A=2,017 m²)
消雪パイプ (延長 671m)
提案事業 (127 百万円) → 土地区画整理 (A=2.1ha)、災害情報提供システム、
まちなか賑わい創出イベント



地区の現況と課題

【経緯及び現況】

- ・妙高市の新たなまちづくりを総合的かつ効率的に推進するとともに、庁舎機能の統合による市民サービスの向上を図るため、整備を進めていた新庁舎が平成19年度末に完成したことから、これを契機として、災害に強いまちづくりと中心市街地の活性化を図るため、中心市街地に隣接する新庁舎及び周辺スペースを本市の防災拠点、交流拠点として、避難場所、災害緊急車両駐車場の整備、イベント広場の整備を図る必要がある。
- ・都市計画道路石塚加茂線は、妙高市の中心市街地を南北に縦断し、JR新井駅・市役所等の公共施設集積地と国道18号や上信越自動車道上越高田I.Cを結ぶアクセス道路として重要な幹線道路であり、整備済み区間に加え新庁舎周辺整備との一体的な整備や市街地へ流入する交通の分散・誘導を図り、街なかの回遊性・移動性の向上を目指した道路網整備が必要である。
- ・築後40年以上が経過し建物が老朽化している、市営住宅の建替計画を契機として、地域住民と行政が一体となりまちづくりが検討されている市街地及びその周辺の住宅地においては、市街地に近接する利便性やまちの歴史・文化を活かした安全で魅力ある住環境を形成し人口定着を図る必要がある、また、全市的な課題である高齢化に対応する福祉機能の整備充実も必要となっている。

提案事業の特徴

元気いっぱい軽トラック市

軽トラックの荷台を即席店舗に見立て野菜やリサイクル品などの販売やイベントを地元商店街が中心となって開催する。

屋台村

夏の夜のイベントとして市内外から出展者を募集し、七夕、納涼、盆踊り等のテーマを設け、地元食材を使った特産品等を提供する屋台を設置するなど、街なかの賑わい創出を目指したイベントを開催する。

災害情報提供システム構築

災害時の円滑で速やかな避難と住民・地域の自主防災意識の向上を図るため、市長が住民へ避難準備情報や避難勧告を発令する際の判断と住民の自主避難の意思決定の補助として、現地の情報を収集し、その情報を住民に提供するためのシステムを構築する。

元気いっぱい軽トラック市



屋台村



災害情報提供システム

